

2020年8月27日

au じぶん銀行株式会社

SDG s 達成に向けた「ESG投資」の推進 ～独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JR TT）が発行する 「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資を決定～

au じぶん銀行株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長:臼井 朋貴、以下 au じぶん銀行）は、SDG s への取組みの一環として、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が 2020年8月に発行する「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド（以下 本債券）」への投資を決定しました。本債券への投資を皮切りに、今後 ESG 投資を推進していきます。

「ESG 投資」とは、財務情報に加えて、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）という、非財務情報を踏まえて企業分析、投資判断を行うものです。調達資金の用途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券である「サステナビリティボンド」は ESG 投資の受け皿として急成長しています。



本債券は、複数の国際基準（注1）に適合している旨、国際的な第三者評価機関である DNV GL による検証と、環境改善効果については、DNV GL による評価に加え厳格な国際基準を設ける Climate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しています。

また、本債券の発行により調達した資金が充当される事業は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）（注2）の達成にも貢献するものです。

au じぶん銀行は、ESG 投資の推進を通じて、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく、社会的使命・役割を果たしていきます。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

au フィナンシャルグループの au じぶん銀行は、『じぶんのいる場所が、行く場所が、ぜんぶ銀行になる。そういうスマホの自由さ、便利さを銀行にも。』という思いを込めて「銀行を連れて、生きていこう。」というブランドメッセージを掲げるとともに、社会の持続的な成長に貢献する会社を目指し、社会貢献活動にも取り組んでいきます。

以上

(注1) 気候 ボンド標準 2.1 版、低炭素交通基準 (CBI)、グリーンボンド原則 ・ソーシャルボンド原則 ・サステナビリティボンドガイドライン (2018 年国際資本市場協会 ICMA) 等

(注2) 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発 サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲット